

第2回子ども・子育て会議 会議録（要点筆記）

開催日時	令和3年3月1日（月）午後2時～3時50分
開催場所	南砺市役所井波庁舎 3階 多目的ホール
出席委員	・三谷 直樹 会長 ・宇野 雪江 副会長 ・石黒 公一 委員 ・磯辺 文雄 委員 ・上坂 紀子 委員 ・大河原 晴子 委員 ・唐嶋 田鶴子 委員 ・北清 俊一 委員 ・斉藤 優華 委員 ・定司 博子 委員 ・竹中 友佳子 委員 ・永井 節子 委員 ・中川 加夜子委員 ・鉢嶺 圭伸 委員 ・前田 啓子 委員 ・山田 政寛 委員 ・新明 春生 委員（代理出席） ・澤田 恵子 委員（代理出席） ・前田 佳弘 委員（代理出席）（19名）
欠席委員	なし（0名）
事務局	・松本 謙一（教育長） ・村上 紀道（教育部長） ・河原 洋子（福光保健センター所長） ・溝口早苗（こども課長） ・吉岡 亘（こども課） ・荒井 昌宏（こども課） ・山田真由美（こども課） ・和田 幸子（こども課） ・江川 晃司（こども課）
傍聴人数	0名

1. 開会

2. あいさつ

会長 令和2年度も今月で終わることになり、時間の経つのが早く感じている。コロナ禍でいろいろな行事が中止、縮小、延期となり、混乱したことが多々あったため、「子育て」、「子育て」がうまく進んでいるのか心配している。本日は、限られた時間の中で、委員の皆さんの忌憚のない意見を聞かせてほしい。

3. 報告事項

（1）令和2年度南砺市教育・保育、地域子ども・子育て支援事業について（資料1）

事務局から資料により説明

〈主な質疑、意見〉

会長 子どもの数は減少傾向なのに、放課後児童クラブの利用者数は増加しているのは何か原因があるのか。

事務局 女性の社会進出や祖父母世代の就労により、低学年の利用者が増加している。

会長 妊婦健康診査の受診率が伸びないが、原因を把握しているか。

事務局 女性の就労率が上がっていることが原因である。事業主は健診を受けさせる義務があるが、

仕事を抜けられない方もいる。

A委員 コロナ禍にあり、利用者数がかなり減少している事業もあるが、この先5年間の当初計画推計値の数字を変更するのか。

事務局 当初計画推計値は、コロナのことを考慮していない数字であるが、この数字を変更する予定はなく、実績値でコロナが原因かどうかを判断していきたい。

(2) 令和2年度南砺市子どもの貧困支援計画の進捗状況について(資料2)

事務局から資料により説明

〈主な質疑、意見〉

副会長 母子・父子家庭からの相談があれば、こども課に相談に行けばいいのか。

事務局 こども課に相談してほしい。また、こども課からもチラシ等を提供していく。

A委員 実際に利用されている方の満足度の指標はないのか。

事務局 資料2に記載してある指標しかない。満足度は人によって違うので、面談等でひとりひとりの状況を把握していきたい。

B委員 高校を中退する子が多いが、原因を把握しているか。

事務局 それぞれの家庭の事情があるので一概には言えないが、発達に気付きのある子が多く、経済的な理由よりも、高校に適応できない子が多いのではないかと考えている。

C委員 支援学校は、義務教育が終わればなくなってしまう。高校で授業が続けられなくなる子への支援はないか。

事務局 支援学校の高等部もあるが、南砺市には足りない。行き場のない人の行き場を作るように考えていく。

4. 協議事項

(1) 令和3年度の定員(変更)と入園申込状況について(資料3)

事務局から資料により説明

〈主な質疑、意見〉

会長 定員は、国の補助金や交付税に影響しているのか。

事務局 公立は影響しないが、私立は直結している。

(2) 第2期南砺市子ども・子育て支援事業計画の令和2年度取組状況と今後の取組予定について(資料4)

事務局から資料により説明

〈主な質疑、意見〉

副会長 子どもの居場所づくり促進事業の中に「アフタースクールあおむし」とあるが、どこで活動しているのか。

事務局 井波地域の空き家を利用して週1回の活動をされている。

会長 ICT支援システム「コドモン」について、スマホがないと何もできない。貧困家庭にとってスマホ取得の負担が大きいと思うが、市の単独予算は考えているか。

事務局 今のところ、市の単独予算は考えていない。祖父母を含めてほとんどの家庭に1台はスマホがあり、コドモンの利用はほぼ100%である。

A委員 子育て支援アプリシステムの導入とあるが、「なんとすこやか広場」とは別のものか。

事務局 「なんとすこやか広場」は、マイナンバーを利用したシステムであり、全く別のシステムである。現在、アプリの開発中で、4月～妊娠届を提出された方に登録してもらう予定である。

A委員 コロナ禍で、講演会が開けない状況である。地域の親と一緒に聞ける学びの場は有効なことと思うが、予定はあるか。

事務局 子育て支援センターで、子育て・親育ち応援事業を開催し、家庭で子育て力の向上を行っている。今後は、講座や学びの場を保育園でも設けていきたい。

D委員 中学校に学びサポーターやスタディメイト、スクールカウンセラーを配置いただき大変ありがたいと思っている。今後も引き続き支援をお願いしたい。

E委員 今年度は、私立保育園・認定こども園が、市の園長会に呼んでもらった。私立も参加させてもらって情報共有等いっしょに取り組んでいる。これは大きな前進である。今後もお互いに刺激しあっていきたい。

F委員 保育園で市の保育園アドバイザーの巡回訪問を実施した。若い保育士が多いため、若い保育

士を見てもらい、大変参考になった。また、なんと元気っ子教室では、今年は保護者が保育園に入ることができなかったが、年齢にあった活動や、家にいてもできる運動を具体的に教えてもらいとても参考になった。

G委員 公立の保育園では、ICT支援システムを導入されるようだが、私立園にもあるが、双方向のものではないので、私立園にも導入してほしい。

事務局 国の補助事業等を調査して、良い環境になるようにしていきたい。

H委員 子育て支援センター「ぴよぴよ広場」では、これまでも9時～16時で行っているが、今年度は、お昼の時間は消毒を行っており、飲食は行っていない。

事務局 コロナの状況により、子育て支援センターで飲食を行うかどうか対応を協議していく。詳細は市のホームページ等でお知らせしていく。

5. その他

事務局から来年度の予定について説明

〈主な質疑、意見〉

質疑なし

6. 閉会

副会長 コロナ禍で、教育委員会を中心に1年間よく頑張られたことがよくわかった。来年も継続して、「南砺市は子育てしやすい」、「このまちで育ちたい」と思ってもらえるようにしてほしい。各地域においても、地域で子どもを育てる気持ちになってもらえるように、委員のみなさんのそれぞれの地域の方々に伝えてほしい。

教育長 市では、縦割りを振り払って協力しあい、知恵を絞ってやっていきたいと考えている。委員のみなさまからも、いろいろな立場からアイデアを教えていただき、もっといい方法があれば変えていきたい。本日はたくさんのご意見をいただきありがとうございました。来年も1年間よろしくお祈いします。

午後3時50分 終了